

各 位

浦安鐵鋼団地協同組合
景況実感調査委員会

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(2023年2月分)

ご協力ありがとうございました。2023年2月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 143社 回答 139社 回答率 97.2%

調査項目	前 月 比						前 年 同 月 比					
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計
売上数量	19社 13.9% (6.8)	26社 19.0% (8.3)	64社 46.7% (34.1)	19社 13.9% (31.8)	9社 6.6% (18.9)	137社	22社 16.3% (11.5)	22社 16.3% (19.8)	47社 34.8% (35.9)	30社 22.2% (23.7)	14社 10.4% (9.2)	135社
売上高	21社 15.3% (7.5)	31社 22.6% (7.5)	58社 42.3% (33.1)	19社 13.9% (33.8)	8社 5.8% (18.0)	137社	44社 32.6% (29.0)	30社 22.2% (29.8)	32社 23.7% (22.9)	21社 15.6% (13.7)	8社 5.9% (4.6)	135社
在庫数量	5社 3.8% (2.4)	27社 20.5% (16.7)	71社 53.8% (63.5)	26社 19.7% (15.9)	3社 2.3% (1.6)	132社	12社 9.2% (7.2)	20社 15.4% (15.2)	61社 46.9% (51.2)	24社 18.5% (16.8)	13社 10.0% (9.6)	130社
販売単価	1社 0.7% (1.5)	13社 9.6% (6.8)	108社 79.4% (81.2)	14社 10.3% (9.8)	0社 0.0% (0.8)	136社	46社 34.6% (38.5)	40社 30.1% (34.6)	36社 27.1% (23.1)	9社 6.8% (2.3)	2社 1.5% (1.5)	133社
収益状況 (粗利)	8社 5.8% (4.5)	17社 12.4% (8.3)	80社 58.4% (47.0)	28社 20.4% (31.1)	4社 2.9% (9.1)	137社	17社 12.6% (10.8)	20社 14.8% (19.2)	52社 38.5% (32.3)	32社 23.7% (23.8)	14社 10.4% (13.8)	135社
稼働率 (生産・ 加工設備)	7社 6.0% (1.8)	19社 16.2% (7.9)	64社 54.7% (51.8)	22社 18.8% (31.6)	5社 4.3% (7.0)	117社	12社 10.3% (5.4)	19社 16.2% (17.1)	54社 46.2% (50.5)	27社 23.1% (19.8)	5社 4.3% (7.2)	117社
入出庫の トラック台数	4社 3.0% (1.6)	19社 14.4% (3.9)	79社 59.8% (53.9)	26社 19.7% (32.8)	4社 3.0% (7.8)	132社	8社 6.2% (3.2)	23社 17.7% (15.9)	64社 49.2% (51.6)	27社 20.8% (23.8)	8社 6.2% (5.6)	130社
	現在の景況感						3ヶ月後の景況予測					
	0社 0.0% (0.0)	10社 7.5% (6.2)	68社 50.7% (49.2)	42社 31.3% (33.8)	14社 10.4% (10.8)	134社	0社 0.0% (0.8)	19社 14.3% (12.3)	85社 63.9% (65.4)	24社 18.0% (18.5)	5社 3.8% (3.1)	133社
特記事項												

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL : 047-350-5311 FAX : 047-350-5316

景況実感調査(2023年2月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 2月の販売量は1月の日当たり販売量と同程度。1月が最低だったので全く良くない状況が続いている。来年度上期の高炉メーカーとの紐付き交渉が下がる方向との報道あり。市況に影響するのではないかと危惧している。
- ② 2月は前月比横這いで、未だ回復の兆しを感じられない。年度末の駆け込みもなく来期に突入する模様。2023年度上期のトヨタ支給単価の発表を受け、じり安であった市況が底を打つことを願う。
- ③ 1月に比べて2月は多少上向きだが、主力の建材関連の動きが悪く、横這いからやや悪化している。
- ④ 年度末の駆け込みもないと思われる。むしろ調整の方が強く、受注に苦戦しそうだ。4月以降は不要期に入り、更に厳しいという声もある。荷動きが乏しい中で支払いがかさみ資金繰りの悪化も予想されるので与信管理を今一度注視したい。
- ⑤ 2月は前月比減となり販売、加工共に落ち込んだ。後半から月末にかけて引合い、注文が日に日に減った印象。価格もじりじり下がっており、暗いトンネルには入りたくないと感じる。

中板

- ① 3月に入ってもジリ安感あり。例年であればメーカーから年度末出荷増で物があふれ置場が無く安売りが目立つが、今年は全体的に歯抜けが多く、母材入荷遅れのほか各社が申し込みを減らしたことが影響されていると思われる。電炉材に関しては、古い契約が残っているので、歯抜けは一時的と思われる。
- ② 売上・加工数量が共に前年同月比で2桁%以上の減少が続いて半年になるが、需要の低迷が長期にわたる懸念すら感じる。持続可能なコイルセンター運営のためには最近の副資材・光熱費・物流費高騰の要因だけを根拠とするのではなく、これまでの人件費等の固定費上昇にもかかわらず、長年据え置かれ固定している加工賃を根拠に、顧客に強く訴えることは勿論のこと、コイルセンターを運営しているメーカー・商社におかれても積極的に加工賃是正に協力いただくことをお願いしたい。

厚板

- ① <全体感>厚板を扱う各分野においては、全体的に低調。製鉄メーカーの供給は足下ではタイト感は全くないものの、2023年には各メーカーとも生産設備集約や大規模改修が予定されており第3四半期に向けてメーカーからの供給がタイトとなることが予想される。<分野別>建機分野では、来期も東南アジア市場やマイニング機械を中心に前期比増の生産を計画しているが、一方で最大の市場である北米の住宅着工件数の減少や、ウクライナ危機、インフレの影響に鑑み計画の下方修正の動きもある。産機分野も、来上期は欧米の利上げにより設備投資ペースが鈍化しており、先行きは不透明。店売り分野は活気が無い状態が続く。

- ② 当社の建設機械向けは引き続き好調を維持。店売りは営業日数が少なかったこともあるが、鋼材価格高騰の影響もあり、案件の延期や中止などにより出荷量も減少した。

—舟安开形鋼

- ① 月初より荷動き閑散で心配するも、メてみれば想定外。短納期対応に終始した月であった。電気代等メーカーのコストアップを販価に反映できるかは今後の需要次第。
- ② 現場が遅れている。契約価格が大きく違ってきていて、大変である。

HH开形鋼

- ① 東京製鐵のサイズエキストラ改定に伴い即刻、販売エキストラの改定を行った。
- ② 前月同様、需要は迫力に欠け様子見、買い控えムードは変わらず。年末から聞こえていた安値は更新されることはないが局地的に残る。電力等コスト増でメーカー値上げが次月以降に予想される中、H形メーカーのエキストラ改定が先行実施される状況となり、ムードや需要云々と言っている場合ではなく、改訂されたエキストラ転稼を丁寧に説明し早期に実行に取り組むべきだ。次月の値上げに向けた最低限の準備と考える。

異形棒鋼

- ① 店売りマーケットの需要減により売り上げ減少が続いている。メーカーは強気姿勢を継続しており、市況は横這いを維持している。数量減により採算は悪い。
- ② 例年この時期には公共関連の需要が最盛期となるが、今冬は荷動きが一段と悪い。現行値を維持するのが精一杯な状況。エネルギーコスト上昇、運賃の上昇、人手不足等、もう一段値上げを唱えたいところだが、現状の荷動きではメーカー、流通ともに一歩踏み出せない様子。
- ③ 2月も価格は横這い。動きは1月より悪かったが、直近は少し良くなってきている。

平鋼

- ① 2月も先月より多少持ち直したものの荷動きは低調で推移した。建築向けの加工品は相変わらず好調。今後、電力料金の値上げに伴うメーカー動向を注視している。
- ② 荷動きは1月と同様で低位横ばいで推移。建築案件も、2月3月は目立った案件もなく、中小案件が中心。4月以降の大幅な電気料金の改定で、平鋼メーカーも値上げを検討しており、値上幅を注視したい。

車重量开形鋼

- ① 受注は減少しており、先が見えない状況。

鋼管

- ① 3月には期末に向けてメーカーの出荷ドライブがかかるが、問屋筋の引取需要は今一つ元気がない。倉庫在庫はMaxの90%まで積み上がっている。
- ② 前月同様、荷動きは悪く、先行きの引合いも少なく、全規格が低調となっている。価格は一部弱くなっている品種もあるが、総じて横這いとなっている。
- ③ 店売りはかなり低調な状況が1月後半より続いてしまっており、かなり苦しい。

構造用鋼

- ① 需要は、自動車関連が落ち込んだままで、建機も足下堅調だが機種、向け先によっては下方修正するところもある。建機、工作機械も減速感あり。荷動きについては、店売りは依然として低位。紐付きも活気薄。在庫はメーカー納期が平常通りで、やや増加。価格はメーカー値上げ分の転嫁がほぼ終わり強含み。

磨棒鋼

- ① 自動車向け紐付き品は依然として動きなし。今後は生産停止をしていたトラック向けが再開する模様だが、半導体の供給不足により本格的な稼働には時間がかかる様子。建産機向けは堅調だが油断はできない。店売りは相変わらず低位ながら安定しており、現状がボトムと思われる。

その他

<ボルト・ナット>

- ① 鋼材価格上昇も落ち着いてきており、見積もり件数が増加しているので期待できるのではないと思われる。
- ② 電気などエネルギーコストが上昇。

<鉄スクラップ>

- ① スクラップ発生量は依然として低調で、荷動きの悪い1カ月となった。海外市況が回復基調にあるようなので、3月にかけてスクラップ市況は強含みで推移すると予想する。

<金属表面処理>

- ① 2月はスポット案件が非常に多かった。しかし、足下は引合いが低調になっているので心配。電気料金が大幅に上がり、昨年比で約100万円/月のコストアップになる。相当厳しい。